

2023年6月8日

学校法人三幸学園
千葉医療秘書&IT 専門学校
校長 高橋 一博 殿

学校関係者評価委員会
委員長 市川 静夫

学校関係者評価委員会実施報告

2022年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 市川 静夫（社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院 医事課顧問）
- ② 古川 哲也（医療法人柏葉会 柏戸病院 医事課課長）
- ③ 佐藤 昂大（飛鳥未来高等学校千葉キャンパス 主幹教諭）
- ④ 江澤 結衣（第14期卒業生）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2023年5月20日（会場 千葉医療秘書&IT 専門学校 802 教室）

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2022年度 学校法人 三幸学園 千葉医療秘書&IT 専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 渡邊 慎也

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 市川 静夫

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

「相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材」を人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を輩出できると考え、教育活動を展開してきた。教務については、個々の生徒のサポートを徹底することで、退学率低減を図ることができ、資格取得率・取得数の向上にも繋がった。実習については、カリキュラム通り実施はできたが、学習効果・理解度・満足度を図るための施策が不足していたと感じる。就職については、過年度同様高い就職率を維持できたが、卒業生の実態調査や繋がりは強化していかなければならないと感じる。

次年度については、退学率低減、資格取得率向上、就職の質向上、卒業生との関わり強化、現場との関係性構築を中心に取り組んでいく必要がある。

② 学校関係者評価委員会コメント

江澤結衣委員（医療秘書科について）

・医療秘書科の医師事務コースの学びが就職後の業務と直結しているため、今後も引き続き実務に繋がっていくような学びの継続が必要である。

古川哲也委員（医療秘書科・診療情報管理士科について）

・生徒満足度の向上は非常に重要であり、病院でもコロナ前は患者満足度調査を定期的に行っていた。学校運営上も課題観の把握を行い、質の向上に努めていく必要がある。

市川静夫委員（医療秘書科・診療情報管理士科について）

・社会人としての基礎能力は現場で必須となるため、基本的な挨拶やマナーの徹底は引き続き行ってほしい。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

①課題

・生徒への理念・育成人材像・将来構想の浸透。

②今後の改善方策

- ・ホームルームや行事を通じて理念・育成人材像の周知および浸透を図る。
- ・教職員の全講師会にて生徒へのアプローチ方法の統一を図る。

③特記事項

・特になし。

④学校関係者評価委員会コメント

佐藤昂大委員（医療秘書科・診療情報管理士科について）

- ・高校ではホームルームだけではなく日頃から理念や育成人材像について触れるようにしている。
- ・目的だけではなく、その意図が伝わるような働きかけが必要ではないかと考える。

江澤結衣委員（医療秘書科について）

- ・浸透させるためには、一時的ではなく定期的に意識できるような仕組み作りが重要ではないか。

古川哲也委員（医療秘書科・診療情報管理士科について）

- ・全体への周知は容易ではないが、病院では社員証の裏に理念・目標を記すことにより、日頃から目に付くような取り組みをしている。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

①課題

- ・全教職員の情報リテラシーの更なる向上（著作権・肖像権・個人情報などへの理解）。
- ・教職員間の情報伝達ツールの活用。

②今後の改善方策

- ・教職員向けの情報リテラシー向上研修の実施。
- ・Teams などを活用した生徒・クラス情報のタイムリーな共有。

③特記事項

- ・特になし。

④学校関係者評価委員会コメント

古川哲也委員（医療秘書科・診療情報管理士科について）

- ・病院では全体に情報を発信するツールはないが、適切なタイミングでの情報共有は業務効率を考える上でも必要であるとする。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

①課題

- ・教育連携(実習等)による実践的な授業展開。
- ・日頃の学び(授業)と行事・実習・就職を意識した学校運営。
- ・成績トップ層の育成強化。
- ・インターンシップやボランティアへの参加促進。
- ・教職員への研修の充実。

②今後の改善方策

- ・実習前後の教育の効果測定や適正な実習先確保。
- ・教職員が現場に足を運び、業界の実態を理解して教育に活かす。
- ・継続した教育で学習効果が高まるように連動させる仕組みづくり。
- ・全講師会等での教職員の学びの場の提供。

③特記事項

・特になし。

④学校関係者評価委員会コメント

市川静夫委員(医療秘書科・診療情報管理士科について)

- ・アルバイト経験がある学生は対応も比較的スムーズにできる傾向があるので、学生の頃にアルバイトを経験させることは有意義であると感じる。
- ・何のための実習か、目的は何かを理解して実習に臨むことで、学習効果も高まると感じる。

江澤結衣委員(医療秘書科について)

- ・実習において医学の知識の必要性を非常に感じたので、実習前に今一度重要性を周知する必要がある。
- ・卒業生との関わりは定期的にあると在校生にとっても刺激になるので、今後増やしてほしい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

①課題

- ・退学を検討する前の積極的アプローチ。
- ・就職研修途中辞退者の低減。
- ・卒業生の就職後の状況把握。

②今後の改善方策

- ・入学願書・調査書や入学前アンケート、各種生徒データの有効活用とタイムリーな情報共有。
- ・納得した就職先選びと社会人になることへの動機づけの強化。
- ・研修送り出し前の指導強化。
- ・卒業生の就職先訪問と実態把握。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

古川哲也委員(医療秘書科について)

- ・病院では離職率低減のため、年齢の近い指導者を付ける等の努力をしている。
- ・日々一つの業務だけを行うわけではないので、並行して様々な業務を行うこと等を学校内で理解させていくことが重要だと感じる。
- ・卒業後のビジョンが明確になっている学生が少ないと感じるため、学校教育でもキャリアを意識させる内容を取り入れていけると良いのではないかと。
- ・卒業生講話等も積極的に取り入れると、双方にとってメリットがあるのではないかと。

市川静夫委員(診療情報管理士科について)

- ・学生の希望職種については、異動等も考えて幅広く考えられるような仕組み作りが必要ではないかと。
- ・診療情報管理士にこだわりすぎることなく、様々な部署で活躍している卒業生との関わりが出来ると良いのではないかと。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

①課題

- ・カウンセラー含めたチームでの生徒支援の充実。
- ・卒業生の就職後の状況把握。
- ・保護者とのフォロー体制の構築。

②今後の改善方策

- ・カウンセラーの人数と相談可能時間の拡充。
- ・卒業生の就職先訪問と実態把握。
- ・必要に応じた保護者との連携。

③特記事項

- ・千葉県専修学校各種学校協会主催「千葉県仕事の学び場」事業（専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン）への参画

④学校関係者評価委員会コメント

古川哲也委員（医療秘書科・診療情報管理士科について）

- ・悩みを気軽に相談しやすい体制づくりは今後より重要になるのではないかと感じる。

市川静夫委員（医療秘書科・診療情報管理士科について）

- ・病院内でも定期的に面談等を実施しているが、時期を問わず相談ができることは大切だと感じる。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・避難訓練の実施(継続)

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

市川静夫委員(医療秘書科・診療情報管理士科について)

・実習先の確保に加え、実習の目的や実習内容の希望なども医療機関側に伝わるとより充実した実習になるのではないか。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

・教務と工法を意識した募集活動。

②今後の改善方策

- ・学校の日常を知ってもらえるように SNS 等での発信強化。
- ・入学者アンケート・卒業生アンケートの活用し、ニーズを把握して募集活動に活かす。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

佐藤昂大委員(医療秘書科・診療情報管理士科について)

・専門学校での学びが将来的にどのように活かせるのか、イメージできることが重要である。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

①課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

②今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

①課題

・ボランティア活動の推進。

②今後の改善方策

・ボランティア活動が実施できるよう、医療機関等へ働き掛けをしていく。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

市川静夫委員（医療秘書科・診療情報管理士科について）

・ボランティア活動の参加により業界について理解を深めるきっかけになるのではないかと。

(11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4
学内で適切な体制が整備されているか	4

①課題

・特になし。

②今後の改善方策

・特になし。

③特記事項

・2014年度から「留学生学費減免入学」制度を実施している。

④学校関係者評価委員会コメント

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

前年度を振り返り、コロナ禍で一定程度成果を出せた項目もあったが、改めて学校として取り組んでいることの目的・意味・意図を考え直す機会となった。感染対策に一定の配慮をしつつ、集団での学びを成長機会につなげていきたい。また、課題を早期に把握し、タイムリーに修正していく柔軟性を持って取り組んでいく。

今年度については、教職員も多く現場に足を運び、現場で求められる資質・能力を理解した上で学校運営業務に活かしていきたい。